

令和5年度（2023年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	高石商工会議所
	代表者職・氏名	会頭 山内 和彦
	所在地	大阪府高石市綾園2丁目6番10号
	担当者	職・氏名 事務局長兼中小企業相談所長 磯川 亜紀
	連絡先	T E L（直通）： 072-264-1888
		F a x： 072-261-7676
		E - m a i l： tcci@gold.ocn.ne.jp
①設立年月日	昭和58年4月1日	
②職員数 （うち経営指導員数）	9名（経営指導員6名）（令和6年3月31日現在）	
③所管地域	高石市	
④管内事業所数	1,884（令和3年経済センサスによる）	
⑤管内小規模事業者数	1,253（令和3年経済センサスによる）	
⑥会員数（組織率）	1070（令和6年3月31日現在）（56.8%）	
	※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
□主な事業概要（定款記載事項等）		
(1) 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。		
(2) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。		
(3) 商工業に関する調査研究を行うこと。		
(4) 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。		
(5) 商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。		
(6) 輸出品の原産地証明を行うこと。		
(7) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。		
(8) 商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。		
(9) 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。		
(10) 博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。		
(11) 商事取引に関する仲介又はあっせんを行うこと。		
(12) 商事取引の紛争に関するあっせん、調停又は仲裁を行うこと。		
(13) 商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。		
(14) 商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。		
(15) 商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。		
(16) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。		
(17) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。		
(18) 前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。		

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>新型コロナウイルス感染症や物価上昇の影響を受けている事業者に対し、事業者自身が経営課題を把握し、解決できるように伴走型の経営支援を行い、小規模事業者の事業継続と経営基盤の強化を図る。事業環境の変化に柔軟に素早く対応するため、迅速な情報の提供、その活用を支援する等、きめ細かい相談対応により事業者の意識改革を促し、新しい挑戦への支援を行うと共に消費者のニーズの変化に対応できるように支援するなど、事業者に寄り添い課題解決に繋がる支援を目指す。①事業者自身がSNS等を有効に活用して自店の魅力創出・発信を支援し、売上拡大とともに地域の賑わいに繋げる。②業務改善に係る人材育成のセミナーを行い、商工業の生産性向上と人材力の強化を支援する。③創業の心構えから資金調達、販路開拓など、創業希望者のニーズに柔軟に対応した創業セミナーを開催し、新規創業者増加を推進し、廃業や事業縮小等への対策を行う。④自然災害等への防災・減災に取り組む事業者に対し、計画の策定や危機管理対策についてのBCP策定セミナーを開催するほか、個別支援等で経営環境の保全を図る。</p> <p>専門的な相談案件は、必要に応じて各種専門家や支援機関等と連携し、課題解決をサポートする。専門相談では、経営における法律・税・労働・知的財産に関する問題解決に向けて専門家とともに支援する。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>●経営相談事業：アフターコロナの持続的な安定経営に向けた事業計画の作成支援や金融支援を行うなど、事業者ごとの課題解決に向けて取り組んだ。R5年10月に始まったインボイス制度の対応支援として、個別に説明を行い、登録を希望する事業者に申請のサポートをするなど記帳支援、財務分析支援を中心に財務基盤を支える支援を行った。</p> <p>●専門相談事業：税務・法務について定期的に相談日を設け、専門家と連携して支援した。労務と知的財産権支援は、相談案件がある都度、開催して課題を抱える事業者の早期課題解決に努めた。</p> <p>●地域活性化事業：「SNSを活用した商業活性化事業」セミナーを開催し、簡便なスマホアプリの活用方法を伝授し、動画の撮影や作成編集の習得を支援した。「中堅・リーダー層の業務改善研修」改善の対象となる業務の抽出や、対策を立案する手法等の習得を支援した。「創業セミナー」創業に必要な知識や情報を習得し受講前に感じていた創業に関する不安や疑問を解決に導き、創業意欲の醸成と起業家の掘り起こしを図った。「BCP策定支援事業」計画の策定や危機管理対策についてのBCP策定セミナーを開催し、BCP・BCMに関心のある企業の発掘と普及啓発を行った。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>●経営相談支援事業 金融支援（経営指導型）は、4～6月に支援の2/3が集中した。事業者からの事業継続のための融資相談が大半であったが、アフターコロナ期を見据えた積極的な設備投資に関する相談も見られるようになった。新たに事業計画を作成する事業者には、その取り組みに対して助言や指導を行った。記帳支援ではインボイス制度開始前後に登録事業者の申請サポートを行い、確定申告時期にはインボイス制度に必要な書類の発行や経理処理が適切に行われているか確認するなど、個々の課題に応じきめ細かい相談支援を行った。</p> <p>●地域活性化事業で実施した、SNS活用事業、業務改善、創業、BCP策定をテーマとしたセミナーはいずれも高い満足度であった。コロナ禍や物価高騰など自らを取り巻く環境の変化が著しい中、将来を見据えて起業したいと考える創業希望者が創業セミナーを受講し、うち数名の創業支援につながった。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>インボイス制度導入に伴うIT活用の遅れに対する支援や、社会変化に対応した販路開拓方法、生産性向上、業務効率化に有効な支援が求められる。所管地域では、経営者の高齢化やコロナのダメージを受けた事業所が多いため、廃業に至らないよう活性化を促進する対策が必要である。</p> <p>BCPに関しては取組みの必要性を感じているが、対応できる人材がないという課題が浮上している。今後、事業者の本質的な課題の掘り起こしと解決に向けて的確な支援を行える経営指導員の資質向上を図り、地域経済の活性化に繋げていく。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>物価高やエネルギー価格高の影響を受けている事業者に対し、事業者自身が経営課題を把握し、解決できるように迅速な情報提供ときめ細かい伴走型の経営支援を行う。そして小規模事業者の事業継続と経営基盤の強化を図り、課題解決に繋がる支援を目指す。①創業者に必要な心構えや事業経営の基本を学ぶセミナーを開催し起業家の育成を推進する。②事業を取り巻く様々な災害脅威等への対策に取り組む事業者に対し、危機管理能力を向上させるためBCP・BCM対策に着手するきっかけとなるセミナーを開催するほか、個別支援等により高石市の経済・雇用の維持、安定及び強化を図る。専門的な相談案件は、必要に応じて各種専門家や支援機関等と連携し、課題解決をサポートする。専門相談では、経営における法律・税・労働・金融・知的財産に関する問題解決に向けて専門家とともに支援する。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 高石商工会議所

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し、感染症対策としての厳格な制限が緩和され、ようやく経済活動が正常化が進む一方で、物価高騰や人手不足などの新たな課題に直面した。金融支援（経営指導型）は4～6月に今年度支援の2/3が集中した。

インボイス制度への対応として、税務署担当者による説明会を実施したほか、登録に関する事業者からの様々な質問や相談に対応した。確定申告時期の前後に消費税申告のための記帳支援を行った。

（代表事例）

開業後数か月の家事代行業A社より資金について相談があった。作業効率アップのための機材を揃え、チラシやwebサイトの改良による広報活動を行いたいとのことで、事業計画書の作成を支援し、小規模事業者持続化補助金に申請した。SWOT分析により事業の目標や行動計画が明確になっただけでなく、補助事業が採択され、資金の一部を確保することもできた。事業を進めるうちに必要となった車両の購入には、金融支援（紹介型）で資金調達を支援した。財務支援を通じて決算の仕組みと損益分岐点の考え方を理解され、記帳支援においてインボイス登録事業者に必要な消費税申告に関する情報を把握することができた。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	320	389	121.6%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	20	5	25.0%	2
金融支援（紹介型）	支援数	20	17	85.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	55	24	43.6%	3
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	5	0	0.0%	2
資金繰り計画作成支援	事業所	5	1	20.0%	2
記帳支援	事業所	50	135	270.0%	5
労務支援	支援数	30	17	56.7%	3
人材育成計画作成支援	事業所	3	0	0.0%	2
マーケティング力向上支援	事業所	3	0	0.0%	2
販路開拓支援	支援数	20	17	85.0%	5
事業計画作成支援	支援数	70	39	55.7%	3
創業支援	事業所	26	15	57.7%	3
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	20	0	0.0%	2
コスト削減計画作成支援	事業所	2	0	0.0%	2
財務分析支援	事業所	90	284	315.6%	5
5S支援	事業所	2	0	0.0%	2
IT化支援	事業所	10	0	0.0%	2
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		-
事業承継支援	事業所	15	0	0.0%	2
災害時対応支援	事業所	0	0		-
フォローアップ支援	事業所	30	30	100.0%	5
結果報告	事業所	315	384	121.9%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

小規模事業者が抱える専門性の高い経営課題の解決に向け、各専門家を活用した専門相談を実施した。経営指導員が受けた相談から経営課題を把握し、適切な専門相談につなぐことにより、問題の早期解決を図ることができた。

税理士による適正な税務を推進する税務相談、弁護士による法律相談、弁理士や専門相談員による特許などの特殊な知的財産権に関する相談など、専門性の高い問題の解決に向けて支援を行った。コロナ禍で中断していた金融相談を再開し、資金面での相談に対応した。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	支援日数	事業評価
法務相談	継続	支援日数	10	12	120.0%	12	5
税務相談	継続	支援日数	12	12	100.0%	12	5
金融相談	継続	支援日数	0	1		1	5
労務相談	継続	支援日数	6	8	133.3%	8	5
その他相談	継続	支援日数	4	5	125.0%	5	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>● SNSを活用した商業活性化事業：セミナーを開催し、簡便なスマホアプリの活用方法を伝授し、動画の撮影や作成編集の習得を支援した。ワークショップを通じて、動画のテーマや素材の選定、構想等について学び取ることができた。</p> <p>● 「中堅・リーダー層の業務改善研修」業務改善に係る人材育成のセミナーを開催した。改善の対象となる業務の抽出や、対策を立案する手法等の習得し、業務改善を行う上で、社員同士の関係性を改善することが重要であると理解した。</p> <p>● 「創業セミナー」創業に必要な知識や情報を習得し受講前に感じていた創業に関する不安や疑問を解決に導き、創業意欲の醸成と起業家の掘り起こしを図った。創業を具体的に考えるようになった受講者に対し、創業計画の作成等の支援を行った。</p> <p>● 「BCP策定支援事業」計画の策定や危機管理対策についてのBCP策定セミナーを開催し、BCP・BCMに関心のある企業の発掘と普及啓発を行った。</p>										

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	SNSを活用した商業活性化事業	15	4	23.3%	100	TikTokに投稿する動画を作成しようと考えている企業の割合	70%	100%	142.9%	3
	中堅・リーダー層の業務改善研修	15	8	50.0%	100	業務改善に取り組むと回答した企業の割合	80%	100%	125.0%	4

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	創業セミナー	60	46	76.7%	100	受講者のうち創業する企業数	3	3	100.0%	5
○	BCP策定支援事業	28	6	21.4%	100	BCPの策定件数	20	6	30.0%	3

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

高石商工会議所

事業名		SNSを活用した商業活性化事業							
想定する実施期間		令和3 年度～ 令和5 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	コロナ禍により事業者は多大な影響を受け、売上高・利益率が安定しない状況にある。かつての販路開拓策はチラシやホームページなどが主流であったが、コロナ禍では販路開拓策としてオンラインとSNSの活用が増え、コロナ禍が収束してもそれらの活用度はより一層増えていくと思われる。本事業では、PRコンテンツの中で最もイメージしてもらいやすい動画をテーマとして、事業者がSNSを継続的に活用できるようになること、自社の商品・サービスのセールスポイントを理解して動画を作成できるようになることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	SNSを活用したプロモーションと動画作成に関心があり、積極的に取組もうとする事業者（全業種）							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	ショート動画活用セミナー「TikTok編」 (1日目) 日 時：令和5年7月24日（月）午後2時～4時 場 所：高石商工会議所 3階大会議室 内 容：①動画作成の基本 ②撮影の心得 ③動画編集アプリ「CapCut」の使い方 他 受講者：7社（9名） (2日目) 日 時：令和5年8月8日（火）午後2時～4時 場 所：高石商工会議所 3階大会議室 内 容：・事前課題で作成した動画を受講者全員で視聴し講師から講評された。 ・TikTokに投稿されている同業他社の動画を視聴し、講師とマンツーマンで動画のテーマや素材、構想等について検討した。 受講者：3社（4名） ※2日間受講できることを条件に受講者を募集したが、2日目は急遽欠席される受講者がいたため、1日目より受講者が減少した。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	高石市発行の広報誌に同事業の開催記事を掲載して集客を図った。						
	④相談相乗	セミナー終了後に講師へ個別相談があった。さらに、相談内容等を掘り起こしたことで、販路開拓支援等に繋げることができた。							
	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	3.5	支援実績率	23.3%	満足率	100.0%
	事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	TikTokの使い方に加え、動画撮影のポイントや動画編集アプリを使った動画作成方法も習得し、効果・効率的にTikTok活用していくことができるようになった。アンケートでは、セミナーで得た知識や情報を活用して自社や自社の商品・サービスに合ったPR動画を作成し、TikTokに投稿していきたいと受講者全員が回答した。						
代表指標		TikTokに投稿する動画を作成しようとする企業の割合							
数値目標		70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
成果の代表事例	化粧品等をネット販売しているA氏は、新型コロナウイルス感染拡大で落ち込んでいた需要がコロナ5類移行で回復が期待されることから、販売促進を図りたいとして受講された。TikTokへの動画投稿は難しいと思われていたが、セミナーを受講したことで動画作成とTikTokへの投稿をチャレンジしようとしたと決心された。								
その他目標値の実績	目標値(計画)					目標値(実績)			
						目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	3年にわたってSNS事業を実施して、SNSの活用に関心のある事業者にSNS活用の基礎、InstagramやTikTokの使い方、スマホアプリで簡単に動画を作成する方法を伝授した。一定の役割を果たしたので、今年度でSNS事業は終了とする。							

高石商工会議所

事業名		中堅・リーダー層の業務改善研修							
想定する実施期間		令和5 年度～ 令和5 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	労働力人口の減少に伴い、労働力の確保は一層難しさを増している。コロナ禍や物価高騰等の状況下において、中小企業では限られた人数で成果を上げることが求められており、解決策の一つとして業務改善・効率化が挙げられている。 本事業では、担当業務のスキルアップだけでなく、問題提起・解決力等が必要となる中堅・リーダー層が改善対象業務の抽出や対策等を立案できるようになることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	全ての業種を対象に、業務改善に関心がある中小企業の中堅・リーダー層							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日時：令和5年9月20日（水）午後2時～4時 場所：高石商工会議所 3階大会議室 内容：①業務改善への理解を深める ②業務改善が必要な対象の発見 ③業務改善実現に向けての対策 ④業務改善の定着に向けて 受講者：6社（9名） <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	高石市発行の広報誌にセミナー開催の記事を掲載して集客を図った。							
	④相談相乗	相談内容等を掘り起こしたことで、事業計画作成支援等に繋げることができた。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	7.5	支援実績率	50.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	業務改善セミナーを通じて、組織の生産性を高めるために、実際の職場で即座に実践できる知識とスキルについて学んだことで、社員同士が互いに信頼し合い、関係の質を高めることが重要だと気づくことができた。アンケートでは、セミナーで得た知識や情報を活用して自社の業務改善に取り組んでいきたいと受講者全員が回答した。							
		代表指標	業務改善に取り組むと回答した企業の割合						
		数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%		
	成果の代表事例	ペットのブリーダー業を営むA氏は、日々の事業の中で改善すべき事項があると感じていたが、セミナーを受講したことで、改善すべき事項に対してどのように対応していくのが良いか明確になったので、従業員全員で業務改善に取り組まれている。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	業務改善はITやDXを活用して行っていく印象がある中で、改善対象業務の抽出や対策立案といった考えることをテーマに実施した。 ITやDXを活用しなくても業務改善に取り組むことができることを伝授し一定の役割を果たしたので、当事業は今年度で終了とする。							

高石商工会議所

事業名		創業セミナー							
想定する実施期間		平成23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	産業構造の転換、競争力強化を図るためには、経済活動の新陳代謝が不可欠となっている。当商工会議所は、産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」認定を平成27年に受けている高石市の認定連携創業支援事業者として、市並びに地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組んでいる。ワンストップ相談窓口を開設するとともに、創業を目指す方や創業間もない方を対象として、創業者に必要な心構えや事業経営の基本を学ぶセミナーを開催する。創業者に対しては、地域支援機関と連携してフォローアップし、以後の経営指導を継続し、起業家の育成を推進する。広域連携での実施とすることで、総合的な地域の活性化に繋がる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	高石市や近隣の市や町に在住する創業予定者、副業起業予定者、創業して1～5年未満の者等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	(開催内容) これから創業しようとする方や創業まもない方が創業の心構えや準備のポイントを習得できるよう、テーマに沿ってセミナーを開催した。(講師：大阪府よろず支援拠点のコーディネーター) 開催時間はいずれも午前9時30分～正午 1回目：令和5年11月11日(土) (11名受講) ①創業アイデア・想いを形にする事業のはじめ方 2回目：令和5年11月18日(土) (11名受講) ②知っておきたい！採用・人材育成の基本 3回目：令和5年11月25日(土) (12名受講) ③創業する際に知っておくべきお金の知識 4回目：令和5年12月 2日(土) (12名受講) ④創業時のマーケティング戦略							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府施策連携(商18番)大阪府商業産業サービス課へ実施日時や内容等を適宜連絡報告し、セミナー内で大阪府施策を案内した。						
②広域連携		泉大津商工会議所・忠岡町商工会と連携し、事業の一層の周知と受講者の増加を図った。各地域での戸別配布等で当事業の広報活動の協力を得た。							
③市町村連携	高石市発行の広報誌にセミナーの募集記事を掲載し、担当課でのチラシ配架をしていただくなど、周知を図った。高石市の特定創業支援等事業を通じて、希望者に支援を受けたことの証明書を発行している。その他、市内金融機関でチラシ配架の協力を得た。								
④相談相乗	支援中の事業者等に当セミナーの受講を勧奨した。セミナー受講者からの希望があれば個別支援を実施している。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	46.0	支援実績率	76.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	「創業するにはまず何をすればよいのか、場所は借りるのか自宅でできるのか、税金はどうなるのか、という具体的な疑問を一つ一つ解消することができた」などの感想が聞かれ、当セミナーを受講する前に感じた不安や疑問について、平均して65%の方が解消したと回答した。創業に必要な知識や情報を習得するだけでなく、収支計画やアクションプランなどを実際に記入することで、創業までの準備やスケジュール感、自身の強みを把握のに役立った。また、創業したいがまだ漠然としている方にとって、ともに創業を目指す中間の存在を心強く感じ、創業意欲を高める機会となった。代表指標の企業数は受講中に創業した人1名をカウントしたが、他に受講前の半年間に創業した人が4名いた。							
		代表指標	受講者のうち創業する企業数						
		数値目標	3	実績数値	3	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	A氏は、エステサロンの開業直後であったが、当セミナーで経営計画の立て方やマーケティングの基礎を学んで視野が広がったことで、関連する新たなアイデアを思い付き、事業計画書を作成した。その際申請した小規模事業者持続化補助金が採択され、これから事業展開していくところである。							
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	受講中に開業あるいは開業1年未満の受講者から相談を受けており、引き続き創業前後の受講者をサポートしていきたい。アンケートには、まだ構想段階なので受講してよいか迷ったという声もあったので、次年度はより多くの方が創業に関心を持ち、創業への一歩を踏み出せるよう、予定1日限りのプレセミナーを開催し、創業セミナーの受講に繋げたい。							

高石商工会議所

事業名		BCP策定支援事業								
想定する実施期間		平成23年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地震や風水害に加えて令和元年度より始まった新型コロナウイルス感染症の世界的流行、医療機関等へのサイバー攻撃など、様々な脅威の顕在化によって、企業経営上の危機管理能力の強化が望まれている。しかしながら大阪府内においてBCPを策定している企業の割合は依然として低く、当所管内においてもBCPの必要性を感じていない事業所は多い。自然災害のみならず様々な脅威への備えの必要性や介護施設におけるBCP策定の義務化、事業継続力強化計画の認定制度導入など、BCP策定の機運は高まっており、BCPの普及啓発を目指す。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	全ての業種を対象に、BCPが未策定の事業者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【BCPセミナー】 日 時：令和5年12月18日(月) 13時30分～16時30分 参加者数：6社6名 対 象：BCPが未策定の事業者 内 容：BCPの内容説明と具体的な策定の考え方、サイバーセキュリティや大規模イベントに関してなど、最新の情報を解説し、簡易版BCPの策定に取り組んでいただいた。また、その後、大阪府や大阪府商工会連合会の支援制度、国のレジリエンス認証制度等を紹介し、事業継続力強化計画の内容を説明した。								
		【事業継続力強化計画】 BCP策定取り組み状況に関するアンケート調査を実施。								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	府施策連携(商14番)実施については、事業内容や策定事例等の情報交換を行い、相互連携を図る。セミナーで大阪府・大阪府商工会連合会の策定支援事業や施策を紹介し、参加者に活用してもらう。							
		②広域連携	地域課題が近い近隣商工会議所・商工会との広域連携(3市1町)により実施し効率化を図る。							
③市町村連携	高石市発行の広報誌にセミナー開催の記事を掲載して集客を図る。									
④相談相乗	BCP・BCMに対する関心を高め、策定支援企業の相談対応、専門家への繋ぎ支援を行う。									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	28.0	総支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	21.4%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナー受講企業の多くがBCP未策定であったが、超簡易版BCPの策定を行う事でBCPの策定に向けて検討するべきことを知ることができた。 また、万博など、時事的に対応する必要がある項目についても知ることができ、一層理解が深まった。 (アンケート結果) BCPについては参加企業のほとんどが知っており、取り組むことには前向きに考えていると回答。受講者全員が大変役立ったと回答しており、満足度は非常に高かった。 また、他部署と連携して策定に取り組むということに課題を感じているとの意見があった。								
		代表指標	BCPの策定件数							
	数値目標	20件	実績数値	6件	目標達成度	21.4%				
	成果の代表事例	受講企業A社は前々からBCPに関して情報収集を行っており、今回のセミナーをきっかけに本格的な策定に取り組んでいきたいと報告があった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は基本に立ち返り、シンプルにBCPに関するセミナーとしたが、コロナなどの問題が落ち着いてきたからなのか、計画した支援企業数には届かなかった。 参加者からの満足度は非常に高い結果となっている。 今年度は年初より能登半島地震が発生し必然的に南海トラフ大地震への警戒感が高まる点と次年度に迫っている大規模イベントへの対応などを中心に今後はPRを行い、より多くの参加者が得られるよう努める。 また、大阪府並びに大阪府商工会連合会の制作支援事業を活用しつつ、大阪府と連携を密にし、BCPの策定に向けた支援を行う。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	30.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナー受講企業の多くがBCP未策定であったが、超簡易版BCPの策定を行う事でBCPの策定に向けて検討すべきことを知ることができた。また、万博など、時事的に対応する必要がある項目についても知ることができ、一層理解が深まった。							
		指標	BCPの作成件数						
		数値目標	20	実績数値	6	目標達成度	30.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	8.0	支援企業数(実績)	0.0	支援実績率	0.0%	満足率	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	事業継続力強化計画の策定については各所共に案件がなかった。							
		指標	事業継続力強化計画の作成件数						
		数値目標	8	実績数値	0	目標達成度	0.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		